

災害用移動式トイレを導入しました

災害時の避難生活で直面する課題のひとつに「トイレの確保」があります。特に大規模な災害では、水道や下水道の設備が壊れ、トイレの使用が困難になることが少なくありません。

いつどこで発生するか分からない災害に備え、このトイレ不足問題を解消する一助として、市では「災害用移動式トイレ(大型トイレカー)」を導入し、4月14日(火)にお披露目しました。市内での活用だけでなく、全国の被災地でも活用していきます。

☎防災・危機管理課防災危機管理担当(☎46 - 1151)



災害用移動式トイレは、3トントラックにトイレを積載しています。災害発生時には、被災により下水道が機能しなくなった地域などに出動することで、日常と変わらない形でトイレを使用できます。

災害用移動式トイレの仕様

個室数	男性用・女性用個室…各2室 多機能個室…1室
個室の設備	洋式便器、ウォシュレット※ ¹ 、除菌液、電灯など ※1…外部電源接続時のみ使用可



多機能個室

多機能個室には、エアコン※²・オストメイト用便器・ベビーキープ台・おむつ交換台・電動リフターを完備しています。車いす利用者は、車いすに乗ったまま昇降できます。

※2…外部電源接続時のみ使用可



個室

寄付金額

企業・団体	13,890,000 円
個人	585,000 円
合計	14,475,000 円



キノピー

災害用移動式トイレの導入にあたり、クラウドファンディング型ふるさと納税などにより、多くの皆さんからご寄付をいただきました。あたたかいご支援ありがとうございました。

皆様も、さまざまな災害リスクや避難先・避難経路の確認、家庭での備蓄など、できる限りの備えをお願いします。
桐生市長 荒木 恵司

また、3月に公表された「群馬県地震被害調査報告書」では、桐生市および周辺市などに分布する、大久保断層に起因する大きな地震被害も想定されています。
市では、災害への備えとして新たに洋式トイレ5室を有する「災害用移動式トイレ(大型トイレカー)」を導入しました。

防災意識を高めて、備えておきましょう

こんにちは
市長です

